

『いちご一会国体、直前特集』

「いちご一会とちぎ国体」の開催まで余すところ、約 1 か月余となった。女子の競技会場となる塩カンのコースでは 9 月に入って、各都道府県の代表チームの練習ラウンドが相次ぎ、複数のチームが重なった日のクラブハウスは、若い女子選手たちの明るいあいさつ、会話や笑い声が飛び交い、華やかだ空気にあふれている。コースは 10 月 4 日(火)から 7 日(金)までの 4 日間、一般営業はクローズとなり、4日は会場設営、5日は公式練習、6、7 日の2日間 36 ホールで競技が行われ、競技終了後にクラブハウス内で表彰式が行なわれる。

【観戦】

一般観戦、応援はシャトルバス利用を



大会期間中はクラブハウス前の車の乗り入れは、選手、大会役員、来賓などの関係者以外は認められない。応援、観戦を希望する場合は、千本松牧場北側に特設される駐車場から、シャトルバスが運行され、これを利用しなければならない。このバスは成年男子のハウライカントリー倶楽部、少年男子の西那須野カントリー倶楽部の 3 カ所を巡回して運行され、どの会場にも 15 分前後で着ける。感染状況次第だが、クラブハウスに到着後、コロナ感染防止対策のため、体温検査と住所の確認を求められる可能性がある。マイカーで直接コースに来てしまうと、千本松牧場の特設駐車場まで戻されるので注意が必要だ。

【おもてなし】

選手、観客に無料で牛乳をたっぷりふるまう

那須塩原市内ではゴルフのほか、サッカー、ソフトテニス、馬術、トライアスロンの 4 競技が開催される。同市の実行委員会では、各会場に『ふるまいコーナー』を開設し、市畜産振興会の協力で牛乳を無料配布する。同市では 9 月 2 日を「市牛乳の日」に制定し、牛乳の消費拡大を促進してきた。その甲斐あって、2020 年には市町村別の生乳産出額で全国 2 位に輝いた実績がある。実行委では、遠来の選手、役員はもちろん、応援や観戦の方々も、新鮮な牛乳の味を楽しんで欲しいと話している。このコーナーは中コース 1 番のティーグラウンドに設けられ、塩原太鼓の演技も披露される。

2022年(令和4年)8月23日(火曜日)

10月1日開催の「いちご一会」とちぎ国体・とちぎ大会に向け、県内市町が地元産の牛乳を生かしたさまざまな「おもてなし」を準備している。各町の選手を歓迎して、会場各所に随時提供される。

那須塩原
4会場では市畜産振興会との協力で牛乳を無料配布し、ソフトテニス・馬術・トライアスロンを、同会場9月2日・3日に開催する。市畜産振興会が「ふるまいコーナー」を設け、市産の牛乳を無料で提供する。県内市町は、全国2位の生乳産出額を誇る。

市畜産振興会 課長 相馬智子さん(55)
「ふるまいコーナー」では、新鮮な牛乳を無料で配布する。選手や観客のみなさん、ぜひご利用ください。

市国体推進課長
「ふるまいコーナー」は、選手や観客のみなさん、ぜひご利用ください。

高校生考案料理の提供も

絶品牛乳を味わおう

馬術競技のリハーサル大会で設置されたミルクスタンド(市畜産)

2022年8月23日付下野新聞より抜粋



【県選手団】

練習ラウンドで応援の声かけを

本県女子選手団は横山^{よこやますずな}玖々奈さん(さくら)、辻結^{つじゆいな}名さん(佐野日大高)、鷺崎^{わしぎきなみ}奈未さん(那須塩原)の3人で、開催地の名にかけて上位入賞を目指す。本県勢は9月10日から2日間、17日からと23日からそれぞれ3日間に練習ラウンドを予定して、調整に万全を期す。同じ日にプレーが入っていて、クラブハウスやコースで見かけた時は、激励の声かけがあってもいい。

他県勢の練習ラウンドの主な予定日(9月)は以下の通り。

・山梨(2日)・滋賀(2、3日)・東京(10日)・山口(10、11日)・京都、福島、宮崎、沖縄(17、18日)・愛知(20、21、22日)・千葉(21、22日)・福島、山形(24、25日)・群馬(27日)。

【組み合わせ】

8月29日に組み合わせ抽選。コースは万全

競技のスタートは6、7日とも午前7時。組み合わせやスタート順は日本ゴルフ協会(東京・中央区)で行われる抽選会(8月29日)で決まる。10月4日には三島公民館において競技委員、監督・代表者会議が開かれ、大会運営に万全を期す。一方、コースの芝の状況は順調で、スタート受付のテントの位置も指定され、細部こわたる準備も着々と進んでいる。一部で見られたグリーン回りの裸地には、洋芝の種を播き、大会までには解消される。練習ラウンドを回った代表選手から特段の不評や改善点は指摘されておらず、コース管理担当者も胸を張っている。

【キャディー】

芝目読みはまかせて。キャディーさんもプレーで体感

競技の裏方として、そのキャリアと腕を発揮してもらわなければならないのがキャディーさん。塩カンキャディーのほか応援のゴルフ場から駆けつけてくれる助っ人を加え総勢37人。プレーヤーの対応は所属のゴルフ場で日常的に経験しているが、問題はグリーン上での芝目の読み方や、ねらいの方向性や距離感など。とくに応援組のキャディーさんは、所属クラブの仲間と実際に競技コースでプレーを体験して、グリーンへの傾斜や曲がり具合を体感して、「出来るだけ役立つアドバイスにつなげたい」と汗を流している。ほとんどのキャディーさんが2ラウンドはプレーし、なかには3回をこなした人もいる。実行委では競技中に上半身につけるビブスを用意、ヤーデージブックとともに配布する。





塩原カントリークラブ！攻略編！！【中コース】 — 中里 鉄也プロ —

☆ 中コース 6 番 ☆



【コース解説】

やや打ち上げて短めのストレートなミドルホール。

【中里プロからのアドバイス】

1 打目は左側に松、右側にバンカーが有る為、正確なショットが要求される。

その為、バンカーまでとどかないクラブで刻むのもOK。

無理にバンカー越えを狙えば力が入りミス確立が高くなる。

2 打目はグリーン手前と右側にバンカーがあるので、

半クラブ大き目な番手でグリーンを狙いたい。

グリーン奥から傾斜があり距離感が難しい。

次回は、中コース 7 番を紹介します!!





国体コースで「見参！」収録。北田瑠衣プロにメンバーが挑戦

BSテレ東のゴルフ番組「ゴルフ侍、見参！」(9月19日午前8:00放映予定)で、メンバーの加藤仁美さん、鈴木英利さんが、ツアー6勝の北田瑠衣プロに挑戦した。男子シニアプロがそのゴルフ場のトップアマとガチンコで勝負するゴルフ番組だが、今回は国体を直前に変則対決となった。国体の競技コースでの真剣勝負が興味深い。



賞品が好評！オープンコンペ 🏌️

今年6月以来、各月の定例コンペのほかに、お酒、肉、ビールなどの賞品をつけたオープンコンペを開催してきたが、毎回100人前後の参加者があって好評を呼んでいる。このコンペは日曜日を中心に開催、前半のハーフのスコアを提出し、それを集計して順位を競うもの。18ホールをホールアウトしてプレーを終了した時点で、1-10位までの飛び賞が決まっており、それをもって帰ることが出来る。もちろん、参加者全員に参加賞も出る。プレー費が通常料金より安く設定されており、ハーフ分とはいえ競争心や達成感が味わえると、毎回100人前後の申し込みがある。このコンペはクラブスタッフが企画して、各業者の協力を得て開催しており、これからも実益のある賞品を用意して、お客様の期待に応えたいとしている。

☆9月コンペ☆

☆10月コンペ☆

☆11月コンペ☆

お肉コンペ 9月23日(金)



前半9Hの新ベリア集計(プレーは1Rお楽しみいただけます)
那須野ヶ原和牛・霜降り国産牛・三元豚等々…
とっても美味しいお肉をご準備します ※参加賞あり
メンバー 7,900円(税込・参加費込)
ビジター 12,600円(税込・参加費込)



※画像はイメージです

物産コンペ 10月23日(日)



前半9Hの新ベリア集計(プレーは1Rお楽しみいただけます)
地元近辺の美味しい物産品を各種ご準備いたします。
お肉・乳製品・チーズケーキ・たまご等々…
皆様、是非ご参加下さい。 ※参加賞あり
メンバー 7,900円(税込・参加費込)
ビジター 13,600円(税込・参加費込)



※画像はイメージです

ボジョレー ヌーヴォーコンペ

11月27日(日)

前半9Hの新ベリア集計(プレーは1Rお楽しみいただけます)
今年もいよいよこの時期がきました。
解禁したばかりの新ワイン・ボジョレーヌーヴォーは、
最高のワインを皆様とご堪能いたします。 ※参加賞あり
皆様、是非ご参加下さい。
メンバー 7,900円(税込・参加費込)
ビジター 13,600円(税込・参加費込)



※画像はイメージです



那須の小天狗—小針春芳伝—⑱

井上 安正

真珠湾攻撃で太平洋戦争に入る前、プロの認定を受けた頃、小針春芳はある発想に行き当たった。「ボールに当たるのはクラブのヘッドだから、その動きが何よりも大切。ヘッドがボールをうまくとらえるには、構えた時と同じフェースの位置、フェースの向きで当たればいい。ヘッドを動かすのは、ボールに飛び出す勢いをつけたり、フェースを構えた向きに戻しやすくしたりするためで、そうしなければ意味がない」と。海外ではボビー・ジョーンズが同じことを唱え、グランドスラムを達成したが、小針がそんなことを知る由もなかった。

小針がキャディーになって以来、根っこがついた棒きれで石ころを転がしたところから、反復練習の末につかんだ独自の発想だった。そう踏ん切りがついたら、球の性質を変えるのが楽になった。球の質とは、左右に曲げることや、弾道の高低のこと。基本は直角に構え、直角に当てること。ロフトを被せて構えて、被せて当てれば低くてランの出る球が出て、逆は高い球になる。スタンスを変えれば、ヘッドの軌道が変わるから、左右に曲げられる。

「要は開いて構えたら開いて当て、被せたものは被せて当てる。構えたままの状態にヘッドが戻ってくればいい」とわかった。小針はドライバーについて、「右手を離して打っている」と評されたことがあった。しかし、離してはいなかった。手のヒラがグリップから離れているだけで、指先でちゃんとグリップを握っていた。

「ワイは足も手首も関節がひどく硬かったから、林由郎のように手首を柔らかく使えず、手首の動きがぎこちなく、ヘッドもうまく操作出来なかった。それで、右手のヒラを離すようにして上げたら、人並みにコックが出来るようになった」

秒速四十五を越えるスピードで動くヘッドのフェースをアドレスと同じ所へ戻すには高い操作力がある。小針は練習量と発想力で、右手のヒラをあえて離すことが最良という結論に達した。「フェースを元に戻すと言っても、難しいことじゃない。神社で柏手を打つのに、空振りする人はいないだろう。手はキチンと元の位置に戻っている。コースに出てもお参りするような感覚で、フェースの元の位置と向きを覚えておけばいい。ミスの多い人は、覚えていないか、途中で忘れてしまうかだ。フェースはここに戻すと念じて振ってみればいい」と説いた。そこから先は、「いかに集中するか」ということになるのだろう。

小針は戦後しばらくして、那須ゴルフ倶楽部から何度も求められて専属プロに復帰したが、最初の一年はテスト期間にしてもらった。その間は那須ゴルフ倶楽部で毎日、ボールを打ち続けた。とくに、風雨の中で低い球を打つ練習をよくやった。「低い球は向かい風や横風に影響されにくいし、狭いホールや打ち下ろしで効果的で、「使い道が広いから」という。

トーナメントの三日あるいは四日の間には、強い雨の日も、風の日も必ず来る。そうした逆境を跳ね返せないと、勝てないと思った。とくに、日本オープンに勝ちたかった。練習は独学で自己流だったが、「人から教わると身につかない。自分で考え、自分の練習で覚えた自分流の技術じゃないといざという時に使えない」と信じていた。

低いボールはティーを低くして、フェースの下の方でたたけとレッスン書にはある。しかし、万人にとってそれがいいわけではない。人それぞれに体力、関節の柔軟性が違う。人それぞれの条件があって、その中で反復練習をして身につけたものでなければ、役には立たない。



「ワイの場合は、ティーを低くすればどうしても手加減をしてしまい、飛距離が落ちる。強風の時でも自分流の感覚で振れて、低い球にならなければ意味はない」。強い風の中で打って打ち抜いてたどりついたのは、「クラブを若干、短くして握るだけでいい」というのがその秘策だった。

小針は戦場から帰って、六年間、田畑を耕しクラブを握っていなかった。それにしても、恥ずかしくないプロ復帰が出来たが、その理由は「ドライバーが思い通りに打てた」ことだったという。「72ホールで、ティーショットがラフに入ったのが一、二回というのが普通だった。ゴルフでは狙ったところへ球を持って行くために、高度な技術がいる。グリーンを狙うショットではなおさら。球のライが同じ時がないから難しい。だが、それが出来なきゃ試合には勝てない」と確信し練習を重ねた。





編集後記

いよいよ一会とちぎ国体、までほぼ一か月となった。コロナ禍での大会準備とあって、クラブ側も感染防止対策とあいまって、細かい神経を遣わされたに違いない。感染7波がお盆と重なり、営業的にも影響を避けられなかったようだ。「コロナに感染してしまった」「メンバーの一人がコロナにかかってしまった」。こんなキャンセル電話がフロントに何本も入ったという。これまでのデルタ株が主流だったころは、こうしたキャンセルはなかったという。第7波のオミクロン株は重症化より感染力が脅威とされたが、それを裏付けた。感染者数も高止まりしており、国体の閉会まで気の抜けない日々が続く。

井上安正

